

【注意事項】

R20TS0399JJ0100

Rev.1.00

2019.02.01 号

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6、PG-FP5、 Renesas Flash Programmer

概要

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6、PG-FP5、Renesas Flash Programmer の使用上の注意事項を連絡します。

1. RH850/C1M-A、RH850/F1K、RH850/F1KM-S1、RH850/P1L-C、および RH850/P1M-E グループのインテリジェントクリプトグラフィックユニットスレーブ E (ICUSE) の有効化に関する注意事項

1. RH850/C1M-A、RH850/F1K、RH850/F1KM-S1、RH850/P1L-C、および RH850/P1M-E グループのインテリジェントクリプトグラフィックユニットスレーブ E (ICUSE) の有効化に関する注意事項

1.1 該当製品

- PG-FP6 用プログラミング GUI 「FP6 Terminal」
V1.00.00、V1.01.00、V1.01.01、V1.02.00、V1.02.01、V1.03.00
- PG-FP5 用プログラミング GUI V2.14、V2.15
PG-FP5 用ファームウェア V2.14、V2.15、V2.16
- Renesas Flash Programmer
V3.02.00、V3.02.01、V3.03.00、V3.03.01、V3.04.00、V3.05.00、V3.05.01

1.2 対象 MCU

RH850 ファミリ

グループ	型名
RH850/C1M-A	R7F701275, R7F701278
RH850/F1K	R7F701542, R7F701543, R7F701546, R7F701547, R7F701557, R7F701560, R7F701561, R7F701562, R7F701563, R7F701566, R7F701567, R7F701577, R7F701580, R7F701581, R7F701582, R7F701583, R7F701586, R7F701587, R7F701597, R7F701602, R7F701603, R7F701610, R7F701611, R7F701612, R7F701613, R7F701620, R7F701621, R7F701622, R7F701623
RH850/F1KM-S1	R7F701684, R7F701685, R7F701686, R7F701687, R7F701688, R7F701689, R7F701690, R7F701691, R7F701692, R7F701693, R7F701694, R7F701695
RH850/P1L-C	R7F701388, R7F701389, R7F701390, R7F701391
RH850/P1M-E	R7F701375, R7F701376, R7F701377, R7F701378, R7F701379, R7F701380, R7F701381, R7F701382, R7F701383, R7F701384, R7F701385, R7F701386

1.3 内容

ICUSE の有効化とオプションバイト (OPBT) の書き込みを同時に実行した場合、オプションバイト 9 (OPBT9) に設定した値でなく、FFFFFFFFh が書き込まれます。

1.4 回避策

ICUSE とオプションバイト (OPBT) の「設定オプション」を同時に「設定する」に設定せず、マイコンの ICUSE を有効にした後に、オプションバイトの設定を単独で実行してください。各プログラマでのオプションバイト単独の設定手順は以下のようになります。

➤ PG-FP6

- (1) 「セットアップ」ダイアログで以下の設定を行います。
 - ・ 「フラッシュオプション」タブの「オプションバイト」以外のすべての「設定オプション」を「何もしない」に設定
 - ・ 「オプションバイト」の「設定オプション」を「設定する」に設定
 - ・ 「拡張オプションバイトを有効」を「有効」に設定
 - ・ 各「OPBT」に設定したい値を入力
 - ・ 「操作設定」タブの「フラッシュオプション書き込み」をチェック
- (2) 「ターゲット」メニューの「フラッシュオプションの書き込み」を実行してください。
または、通信コマンドの'pfo'コマンドまたは、'opb'コマンドのいずれかを実行してください。

➤ PG-FP5

- (1) 「セットアップ」ダイアログで以下の設定を行います。
 - ・ 「スタンダード」タブの「拡張オプションバイトを使用する」をチェック
 - ・ 各「OPBT」に設定したい値を入力
- (2) 「デバイス」メニューの「オプション・バイト設定」を実行してください。
または、通信コマンドの'opb'コマンドを実行してください。

注：RH850/P1L-C の場合は、PG-FP5 での回避策はありません。
お手数ですが PG-FP6 または Renesas Flash Programmer で設定くださるようお願いします。

➤ Renesas Flash Programmer

- (1) 以下の設定を行います。
 - ・ 「フラッシュオプション」タブの「オプションバイト」以外のすべての「設定オプション」を「何もしない」に設定
 - ・ 「オプションバイト」の「設定オプション」を「設定する」に設定
 - ・ 「拡張オプションバイトを有効」を「有効」に設定
 - ・ 各「OPBT」に設定したい値を入力
 - ・ 「操作設定」タブの「フラッシュオプション書き込み」のみをチェック
- (2) 「スタート」を実行してください。

補足：インテリジェントクリプトグラフィックユニットスレーブを有効にする設定メニューは ICU-S としています。本注意事項では ICUSE を示しています。

1.5 恒久対策

- PG-FP6 用プログラミング GUI 「FP6 Terminal」 V1.03.01 で改修します。(2019 年 4 月公開予定)
- PG-FP5 用プログラミング GUI V2.17 および PG-FP5 用ファームウェア V2.17 で改修します。(2019 年 4 月公開予定)
- Renesas Flash Programmer V3.05.03 で改修します。(2019 年 4 月公開予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2019.02.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

■総合お問い合わせ先

<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。